愛國婦人會機關

愛國婦人

毎月十日廿五日發行

(定價)一枚參錢一ケ月分六錢三ケ月拾八錢半年分參拾六錢壹ケ年分七拾貳錢全國無遞送料郵券代用(壹錢又は五厘切手)一割增
廣告料五號活字一行四拾錢

發行所　東京市麴町區下二番町三十七番地 大日本女學會內 愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

社說

◎呈佐藤愛國婦人會主事(承前)

相談役海軍少佐子爵　小笠原長生

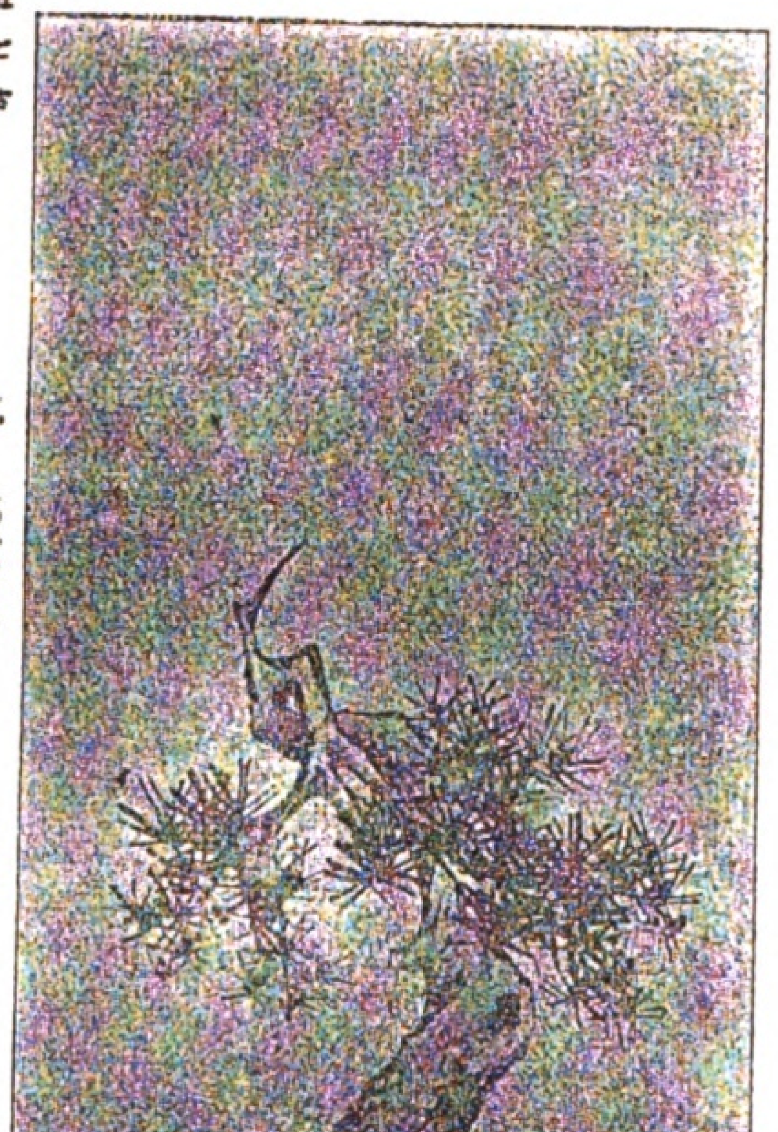
さりながら、貴會の御目的は是れのみにて滿足さるゝものとは不被存候。尚一進しては一般女子の品操を元として社會の風潮を矯正し、再進しては東洋全般の婦女を薰陶誘化して文明の域に導き、以て淸韓兩國の保全を企圖せらるゝは眞に貴會を措て他に是れなき事と確信仕候へば、予は强ひても之を以て貴會の義務たらしめんことを切望致し居り從ッて淸國婦人につき觀察研究の必要相生じ申候。尤も其風俗習慣等に至つては著書も不少殊に先頃の愛國婦人に御揭載相なりし淸國よりの通信にても略察知し得べければ予は其上流社會の婦人の貞操に關し一言申上度候。

淸國貴婦人は一般に孔孟の遺訓を守り其の貞操頗る堅固なるは、吾人にとりて轉た意外の感なくんばあらず。今は二三年の昔となりぬ、團匪の亂漸く治まりて其政府が各國軍隊より天津鐵道を受取らんとせし際の事かとよ、其局に當れる某大官は妻女に向ひ、我れ若し君命を完うして此大任を果すを得ば某日某時迄に歸宅すべきも、對手は各國の氣荒き軍人なり、万一故障起りて任務を果たし得ずば、我は潔く一命を拋ちて君主に謝せざる可らず。されば約束の時に至りて尚歸り來らずば、最早や世に無きものと思ひ絕えよと、遺言して家路を出でしが、談判圓滑に局を告げ一の障害もなく引渡しを了りし事とて大官の喜び譬へんにものなく、嬉しむ最愛の妻が顏見んものと、急ぎに急き、豫て約束の時より僅かに二時間の後歸り着きて、妻の房子へと立入り見れば、哀れや妻は所夫に地下に從ふて貞節を完うせんとの遺書を認め、刄は見事に咽喉を貫きて明眸長へに閉ち、今も尙節婦の名を留めて多恨の士を泣かしむると聞く。こは唯一例のみ、然も類似の事に至りては枚擧に遑あらざるのみか、中には一兵士の妻にして良人と死を共にせるもの少からず。健氣の最期にはずや。申す迄もなく婦人の死を賭しても守るべきは貞節にして、之に一點の汚濁にても付きしては其他に如何に美德の存すればとて、女子の龜鑑とは申されまじく候。尤も死を輕々しく致すのみが必ずしも貞節にかなふとは云はれず、或は極端に過ぐるの嫌ひなきにしも非ずと被存候が兎に角支那上流婦人の胸中に多少奪ふ可らざる氣骨の潜めるは確なる事實にして、頼母しさ限りなく覺え候。閣下よ。太沽、天津さては山海關に遊ぶもの、誰れか淸國の現狀に感慨なきを得べき。砲臺や、神廟や、各國の軍隊今尙思ひ〳〵に割居して、自國の國旗を飜へし寸隙の乘ずべきあらば豺狼の慾を逞うせんとする其暴狀を目擊し、淸國男兒にもし些少の意氣地あらば堪へ得べうも思はれぬに、然も彼等は恬然として恥なきのみか、甘んじて各國軍隊の爲に使役せられ、揶揄かれ蹴られ罵られても更に怒らず、唯々少許の賃錢を得ることにのみ奔走する有樣は、餘所の見る眼も齒癢き程に御座候。嗚呼この無膓男兒をとりて死を辭せざる婦人社會に比較し視給へ。其差啻に天地宵壤のみに候まじ極端とも言はゞ云へ、輕卒とも言はゞ云へ、予は寧ろ死を以て貞節を完うせんとする婦人に與して、之が爲に一鞠同情の淚なきを得ざるなり。望らくは我が尊敬する令夫人達、時機を得ば彼等を誘導し其氣骨を應用して以て大陸全般の改革を試みられよ。必ずや其效果意外に大にして、從つて淸國啓迪の難事も成功すべくと存じ御參考迄に申上ぐることに御座候。古より仁者は勇あり、勇者は難事を避けざるものにて候ひけるよ。

秋風も早や音つれて、朝夕は冷氣身に染む折柄なれば、國家の爲、婦人會の爲、御自愛專一に祈り申候頓首。

◎廣島支部幹事長德久夫人の談話(承前)

○副幹事長及び幹事の盡力に就いて　師團のある縣では、縣廳の方と師團の方との交際が中々むづかしいものでありますが、熊本では幸にして旅團長の夫人で飯田まさ子と申される方がありまして、本會の評議員で、熊本の副幹事長を兼ねて居らッしやいます、其方が本會の爲に非常に御熱心でありまして、私を助けて常に御盡力下さいましたから、熊本は成功したのであります。師團の將校方の御婦人は、割合に本會に入會される方が少う御在いましたが併し此有力にして、働きのある御婦人が加勢して下さいましたからして、私も此方に勵まされて一層勇氣を出した次第で在います。其他幹事方も熱心な方が多くて、百數十人の幹事が能く團結して働かれますから、自然、會の發達も著しくなりましたのです、且又事務員にも適當な人を得て內部の整理に任して居りました。



○本會と赤十字社と　日本赤十字社は生前に於ける軍人救濟の事業で、本會は死後に於ける軍人救護の事業で、互に相並んで撞着せず、車の兩輪の如くで双方相働いて始めて全きを致すのでありますから、地方に於ては赤十字社とは姉妹の樣に手を携へて發達せしめると云ふとが必要だと思ひます。それで熊本では一方の會員であるものは一方にも勸める樣に致して居りました。殊に篤志看護婦人養成所の方は悉く愛國婦人會々員となッて居られましたから、双方便利を得た事が多う在いました。

○毎月の例會に就いて　地方では婦人の集會する機會が少くて、交際といへば個人同志の訪問ですが、此訪問には時間の制限もなく、手土產を携へるとか、饗應するとか、繁雜な事が多い爲に交際が億劫で好結果を得られませぬ。其れ故に日を定めて大勢一緒に集り、相互の訪問に替へて要事を濟ませるとにしますと、第一時間の經濟でもあり、手土產などの面倒もなく至極淡泊とした好い交際が出來ますから、熊本では第一に本會の擴張を計るを目的とし、第二に婦人相互の交際を厚うする爲に、毎月一回本會の例會を開く事に致しまして、西本願寺別院の僧侶達や、師團の軍醫方に、出演を願ッて、高尙有益な敎訓を受ける事に致して居りました、大抵毎月五六十人も參會されて大層都合好く行はれて居りました。

○熊本支部に發會式を擧げぬ理由　各府縣の支部では花々しく發會式を擧げられますが、熊本縣では會員が多數であるにも拘らず、未だ發會式を擧げませぬ。何故擧げないのかと申しますに、多くの費用を要する割合に、効用があらうかどうかといふ疑があるからで在います。他府縣では發會式や、大會を擧げる機會に入會者が澤山にあるさうですが、熊本では漸次に勸誘して今日の多數に達せしめたのですから、花々しく發會式を擧げて見た處が、一時に多數の會員は得られまいかと思はれます、それ故に成るべく儉約して少しても餘分に遺族救護の目的に出費したい考で、未だ發會式を擧げなかつた次第で在います。(完)

◎本號附錄には評議員上田常磐子幹事淸田愛子同森田かね子の肖像を揭ぐ

電話番町壹千三百三十番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

寄書

◎海軍下士卒家族共勵會の状況（承前）

相談役　海軍大尉　佐々木高志

三　仕上たる重なる事業の品名員數賃金

創立以來六月末日迄に仕上げたる裁縫部の重なる者を列記すれば左の如し

集會所用蒲團七十五枚十五圓袴下三千枚二百四十圓フラチル袴下百枚四圓五十錢蒲團覆千枚二十五圓患者用緜入二百五十枚十三圓七十五錢同蒲團覆四百枚二十八圓襟飾二千枚二十圓囚徒用袷二百枚十二圓同股引三百枚二十四圓事業服二百着五十三圓二十錢焚火手袋五百枚百圓信號旗二百餘枚七十五圓集會所蒲團覆洗濯百餘枚六圓五十錢其他

尚ほ目下從事中のもの左の如し

事業服一千着二百六十六圓信號旗百旗四十圓焚火用手袋千五百双四百圓

四　本會の設立と部外の同情

本會の設立は獨り海軍下士卒家族の幸福を増進せしめ、會員の夫たる下士卒をして、後顧の憂なく專心軍務に從來せしむるの效あるのみならず、一般を感化して進歩の好模範を示すものあるが故に世の紳士淑女の同情を寄せらるゝ者尠からず、隨て基礎は倍々堅く、名聲は日に揚がるを覺ゆるなり。今其重なるものを列記すれば、横須賀鎭守府司令長官井上大將閣下及び參謀長向山少將閣下の如きは、屢々歩を枉げて工場を巡視せられ、軍令部長伊東大將閣下は來臨の際會員に向ひ「本事業は單に一個人の事業にあらす、海軍下士卒をして後顧の憂なからしむるに就き非常の效果あるものなるにより、海軍のため國家のため大に勉勵せられんことを希望す、云々」と告諭せられ、其他海軍將校にして、工場を巡視し事業の實况を觀察せられたる者幾何なるを知らす、然も皆入場料の如く稱贊を拂はれざるものなし。特に山階宮殿下、華頂宮殿下は各其御附武官を遣はされ、各工場及び事業の詳細を取調べしめたらるゝ如きは、本會の最も光榮とする所にして、會員の衷心喜悦する所なり。本會に對する部外の仝情は尚ほ之に止らず、有栖川宮威仁親王妃慰子殿下は金七十五圓を、東伏見宮仁依親王妃周子殿下、山階宮菊麿妃常子殿下、華頂宮博恭王妃經子殿下は各々金五十圓を下賜して「みしん」一臺宛を供せられ、且つ懇篤なる稱贊と將來の繁榮を期するの令詞を垂れさせられたり。又貴婦人としては前侯爵夫人前田朗子殿の、金五十圓を寄贈して「みしん」一臺を供せられたる等なり。淑女としては山崎ろく子殿の、金五圓を寄贈して本會の資を賛けられたる等あり。團體としては軍艦八雲高等官、幷に夫人より「みしん」一臺を寄贈せられたる等あり。仄に傳聞する所によれば海軍下士卒養成の泉源たる海軍砲術練習所、水雷術練習所、機關術練習所の准士官以上の發議により、帝國海軍の准士官以上及び其夫人の同情に訴へ、若干の金品を寄集して本會に必要なる義助をなすの擧ありて、早晩膏雨となりて本會を滋潤する所あるへしと謂ふ。其他時事新報等有力なる二三の新聞は本會の施設を其紙上に於て世人に紹介したるが如きは、普く知悉せらるゝ所の如し。是等は皆現實に於て顯はれたる部外同情の一斑なりとす

五　器具機械及資金の現况

「みしん」は本會事業中最も必要なる者の一にして多々益々便するものなり。目下十臺を有し、附屬器具亦之に副ふ。內五臺は皇族及び貴婦人の下賜又は寄贈に屬す。又資金は横須賀海軍下士卒集會所大に同情を寄せられ、無利息貸與を快諾せられ、目下四百七十圓を借り入れ、內三百圓は製作品の原料費に充て原料及び現金として存置し、百七十圓は器具機械購入費に屬し、何れも漸次少額宛償却しつゝあり。

六　將來の希望

本會は創立日尚ほ淺きを以て設備未た完きに達せず、隨て下士卒家族の希望の十分の一をも充たす能はざるは前に述ぶる所の如し。而して之を補正するに、目下の急を要する者は工場の増設と器具機械の購入にありと雖も、由來本會は一定の基金と資金を有せず、一に會員の力行により、百年の長日月を經て目的の完璧を謀らんと欲する者にして、先つ下士卒家族の幸福を増進するを第一とし、出來得るだけ積立金の額を小にし、以て會員の收入を大ならしめんと力むるが故に、現狀を以てすれば急に全部の希望に副ふ能はざるものあり。然れとも意外なる部外の仝情は本會の前途に一條の光明を與へ、各種の擴張も此博愛仁慈なる紳士淑女諸君の翼賛により、着々進捗せしめ得べき氣運を見る。玆に於てか工場の新設、器具機械の購入、及び幼稚園を理想とせる幼兒預り所の造成を第一着の事業とし低廉なる家賃を以て住居し得る下士卒長屋の建築、及び下士卒家族の施療病院の建設を第二着の事業として擴張を企畫せんと欲するに至れり。

加斯設備の完璧は固より余等子孫の日に當て必ず實行せらるべきは深く信じて疑はざる所なれども、目下幾百千の家族をして、空く完璧の時を待たしむるの止むを得ざる實況を默視するに至ては情として忍び難きものあるにより、百尺竿頭更に一歩を進め、篤志なる紳士淑女諸君の仝情及び寄贈を得て、近き將來に於て一般の擴張を遂行して、愛護の目的を現實にせんことを欲して止まさるなり。

以上記載の事項は、本年六月三十日付けを以て、會長男爵夫人井上光子、幹事長向山靜子、幹事築山孝子、榊原榮子、吉岡雪枝の名を以て、一般に報告せり。

（完）

◎歐米漫遊談

東京府　幹事　某夫人

本篇は良人及び令孃と共に英佛米の三ヶ國を漫遊して此程歸朝せられたる某紳商夫人か記者に談話せられたる要領なり。

◎癈兵院　佛國の巴里へ參りました時に同地の癈兵院を見ましたが、夫は有名な那翁第一世の墓所の處にある長屋建の建築で、長屋建と申しましても日本の長屋とは異ッて、餘程立派で大きなものであります。是に戰爭で負傷した兵士、足のない人や手のない人が這入ッて居ります。是等の癈兵は一定の服裝をして構外にも逍遥して居ましたが皆何も非常に元氣で、又嬉しさうに見えて、決して氣の毒さうに悲しさうには見えませぬ。夫は嘗て護國の大任を盡した功勞に酬ゆる爲に國家や國民から手厚き待遇を與へられて、何不自由なく生活して居るからであると思ひます。其他米國にも南北戰爭の際負傷した軍人を收容する爲に、國庫の費用で以ッて癈兵院が建ッて居ります。そこで或外國婦人から日本では日清戰役以來負傷した軍人も少くない事でありませうし、軍人は一般に優遇されて居りませうから、さぞ立派な癈兵院が建てられて居るでありませうねと聞かれました時に、私は何とも御答が出來ませんでした。どうか本會の事業として、早く立派な癈兵院を建てゝ、癈兵の方に滿足を與へられん事を希望致します。

◎婦人と慈善事業　あちらでも慈善事業は餘程盛んに行はれて居りまして、婦人が關係して居るものも少くありませぬが、其遣り方が日本とは少しく異ッて居ります。あちらのは万事實行を尊ぶ風でありますから餘り騷がないで以ッて着々功を奏して居ります。故に夫が爲の集會等も至ッて輕便で、集會の時飲食物を饗する樣な事はありませぬ。日本では何かすると云ふと其騷ぎが非常で、其爲に多くの費えがかゝりまして、結局目的の處へ屆く物は僅になります。之は日本人の弊かと思ひます。此風習は家庭に於てもさうで、外國の家庭は何事もよく整然として秩序が立ッて、少しもごた〳〵して居りませんが、日本では私共の家庭を始め、何だか毎日ごた〳〵致して居りまして、少しも秩序正しい所がありませぬ。是は外國の婦人方に對しても實に恥かしう思ふ次第で、今日では先づ家庭からして秩序を立てゝ、徃ッて社會上の事業についてもやはり秩序的に致し、花々しい事は成るべく避けて、實行的に致したいものであります。

◎歐米の商店と主婦　日本の商店では大概の店で主婦が良人の手傳ひをして、夫婦共に働く樣な工合であります。假令ひ表向きは男子が職業を執ッて居ッても、其內實は女子が大に助けをして成功せしむる樣助けて居りまして、男子も女子に依賴する處が多くあります。從ッて婦人が店に對する權力の幾分を持ッて居りまして、店に使ふ番頭手代まで主人の外に主婦の氣に入らねば勤まらぬと云ふ有樣で、商業上の掛引にまで時には婦人が口出しいたします樣でありますが、歐米では其風習がまるで異ッて居りまして、最も小さい商店は兎に角、苟も中等以上の商店の主婦は商賣上の事には少しも關係致しませぬ。又主人も商賣上の事は婦人に知らさぬを禮儀のやうに致して居ります。故に商賣上の話になりますと、婦人の席を外して、別席で話を致します。殊に店の組織が日本とは異ッて居りまして、商賣上と家計の費用とは整然區別して、互に流用を許しませぬ。又商店と家庭とは離れて居るを常と致します。（未完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

訪問

◎富士登山の話

評議員　嘉納須磨子

嘉納夫人は此程長田夫人と共に富士登山を試みられたるが本篇は其談話の要領なり。文字の責は記者にあり。

◉登山の用意　是は色々ありますが、私共は最も簡便な事に致して、只山の上は寒う在いますから防寒用として、眞綿、ふらんねるのシャツ及び藥等を用意致し、衣服は浴衣に股立ちの付いた袴を穿き、脚半に草鞋がけで金剛杖を力に登りました。

◉婦人は何故に登山せざるか　私共婦人が富士へ登ッたとて、皆さんが不思議さうに御尋ねになりますが、之によって見ましても、日本婦人の氣力のないと云ふ事が知れまして、殘念に思う次第で在います。私共と同行せんと約された婦人も四五人ありましたが、愈々往かうと云ふ間際になりますと、皆御斷りになりました。何故かと聞いて見ますと、本人は登る氣でも親類から干渉されたり、老人から引留められたりして、遂に果されませんでしたが、何も海外へ旅行するでもなく、東京から僅に一日で以て達せられる處へ往くのに、婦人だと申して然程心配される事はない筈であります。日本では婦人は元來弱いもの、樣に、自分も思ひ又た他からも思はれて居りますから、自然登山など活潑な事が出來ぬので、誠に遺憾な次第であります。

◉登山は思ッたより容易なり　私は御覽の通り餘り壯健の方ではありませぬ。又東京に居ります間は殆んど土を踏んだ事はありませぬが、此度登山致すに當り、少しも男子の助を借るやうな事はありませんでした。是迄登山者の話が餘り大きいものですから、十分の覺悟を致して登りましたせいか、思ッたよりは容易であると思ひました。登山についての秘訣は始めより急いではいけませぬ、靜々と登ッて往き、困難の處に出遇ひますと休み〱進みさへすれば、容易に目的の地に達する事が出來ます。女子と申して男子と變ッた事はありません、息切れのする時は男子も同樣息切れを致して居ります。話によると顏の色さへ變るとか申しますが、空氣が稀薄なと、寒氣が強いために多少色が變るかは知りませんが、登山したとて皆〱人の顏の色が變るやうな事はありません。

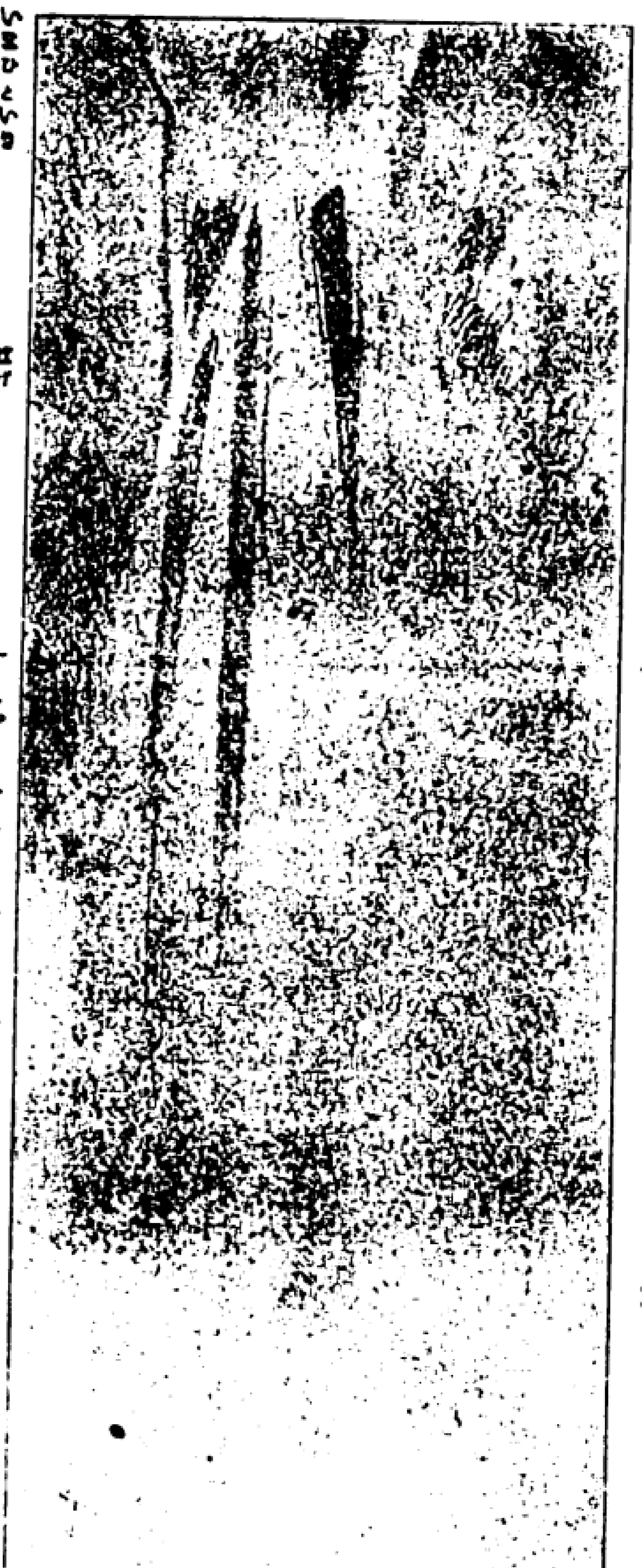
◉精神上の快樂　登るにつれて多少身體上の苦痛はありますが、精神上の愉快は又格別で譬へんにものもありません。居は氣を移すとか申す通り、六七合目まで登りました頃は心樣清淨になり、世の樣々なる汚はしき觀念は雲や雪に洗ひ去られた樣でありまして、恰も羽根が生えて仙郷に遊んだ思ひがあります。夫に風景は時々刻々に變りまして晴れた時は相模から伊豆の半島にかけ駿河あたりの下界の景色は箱庭のやうに一眸の中に集り箱根の湖水は手を以て覆はれる程に見え、其雄大な景色は見とれる斗りであります。其うちに白雲が忽然として身を纏ふて今迄の景色は全く覆はれて眞に雲の上の人となり、又十數歩進むうちに其雲がはらはれて、再び元の景色を眺める等、愉快に堪へませぬ。又登山する人々は老弱男女貴賤の差別はなく、皆平等で互に相いたはる心持ちがありますので、私共が頂上へ登るところにも、何處の人か知りませんが、上から降りて來る人々が聲をかけ「御早うございます、頂上は今一息です」と勵ましてくれました。此同情ある聲が又一層の力になりまして、眞に嬉しく感じました。斯樣な工合に精神上の變化と云ふものは非常なもので、所謂る邪惡の念は富士の雪と共に淸めらるゝ心地が致します。

◉七合目に宿る　七合目には二ヶ所の室がありますが、夫は至ッて簡單なもので、床は足を伸せば土がつくと云ふ樣に狹い麁末な室で汚うございます。殊に男女入り亂れて、恰も船の下等室を見たやうな處でありますが、とにかく此處は困難を經來ッて一と先づ安息する處でありますから、汚いとも思はず、不自由なとも思はず、何等の不平も起りません。且つ精神が淸淨になッて居りまして、人々互に同情の念が强うありますから男女の室が一緒では困るとか云ふ樣な念は起りません。

◉山中に明月を賞す　當夜は恰も舊暦十四日の明月でありましたから不圖もかねて希望して居りました山上の月を賞する事になりました。其月が平常見る月とは大變に異なッて見えまして、空氣の稀薄な爲に光は愈々するどく、又之を遮る雲はなく遙に下界を眺めますると、白雲が一面に取卷いて居りまして、見るも恐ろしく、見渡す限り草も木もなく夜は閑にして萬籟聲なく、月と自己と自己の踏んで居る土地の外何等の物もないのでありますから、其時の思想は又一種のもので、恰も仙人のやうな心持になりました。其時の歌に、

かねてより見てはやまじと思ひこし
わがひも滿つるけふの月影

山高み下なるくもを打ちわすれ
心そらにもなりにけるかな



瀑布の圖
島杉青學女史筆

◉日の出を眺む　富士の日の出の景色のよいと云ふ事は兼てより聞いて居りましたが、天氣都合もよく實に立派な日の出を拜みました。山の上で而も富士山の七合目でありますから、足の下から旭が登るので、其の出る時の雲の綺麗な事と申したら尋常でありません。湧き出たる白雲の中には、天女が住み給ふが如く、黑雲は恰も伏魔殿の如くて惡魔が中から踊り出でんかと思はれ、又龍の如く虎の如き雲が或は變ッて戰を挑み或は離れて平和に歸するが如く、其中を太陽は紅の光を放ッて上り始めますと、周圍の雲は時々刻々に、或は紅となり紫となり、變轉窮りなき其有樣は到底美術家の筆にも載り兼ねる程のもので、斯樣な景色は他處ではとても見る事は出來ぬと思ひます。其時の歌に、

うつせみの身は大空に立ちて見つ
雲のしたよりいづる日影を

◉頂上に登る　富士山中最も險難の聞えある胸つき八町の途も、別に男手を借りる必要もなく、無難に登り切ッて頂上に達しました。頂上は空氣が稀薄でありますから、多少の息切れはありますが、大した事はありません。只私は手袋を外して居りましたから日光に直射せられて手の甲をやけど致しました。それは元來私の皮膚が弱い爲で皆さんがさうではありません。頂上では先づ金明水で口を洗ッて御鉢まはりを致しましたが、其中で劍が峰と申すは又一段高く聳えて居ります。此峰に登りまして、左の句を得ました。

世の中は限り知られず富士の山
のぼれば又も峰はありけり

女とて云ひなおとしそ富士がたけ
劍の峰もわけて登りぬ

◉婦人も登山すべし　富士登山は皆さんに御勸めしたからとて、行はれるものではありません。自分で登ッて見たいと思ふ十分の覺悟のある人でなくては登り切れませんが、平常から登らうと思ふ婦人の君達で、唯樣子が知れぬ爲に登る事を躊躇してをられる方々には、私の樣な體格の弱いものでさへ難なく登りました位ですから、別段危む事なく御登りになる樣に御勸め致します。特に年少な女學生の君達よりも、世の中の色々な困難にも出遇ひ、經驗も積んだ主婦の君達に登山を御勸め申します。登山する事は單に體育の奬勵斗りでなく、精神上に於ても申上げられぬ程清淨なる考へを起すやうになりますし、家庭の御話の上にも種々新しい物語りを增してよからうと思ひます。婦人だけ二三人連て御登りになッても、强力と申すものを依賴しますから、少しも危險はありません。强力と申せば昔の雲助見た樣に思はるゝ方もありませうが、そんなものとは違ッて全く富士の裾野の質朴な農夫でありますから、決して危險なものではありません。又中途にも頂上にも室と稱へて、食事を調へる處もありますから、其點についてはさしたる用意はいりませぬ。只食物がまづく、又男女混同といふとが缺點でありますが、是も登山につれて心ばせ淸くなりますので、別に不愉快にも感ぜぬ樣になります。どうか明年からは吾會員方もづん〱御登りになる樣に希望致します。

しをりせて猶山ふかくわけ入らん
うきこと聞かぬ處ありやと　　四行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎家政要領（つゞき）

家事衞生　飲食

齒　齒牙は食物を細く切るべき天與の料理器械なり、されば庖厨用器具の部に於て聊か其の説明を爲すべし。齒の外部は堅き琺瑯質にて包まれたり、是れは石灰分より成立するものにて、劇しき寒熱に逢へば龜裂を生ず、故に劇しき寒熱の飲食物又は甚しく硬き物を度々食する時は、害を受くるとあるなり。又酸きものは石灰分を溶解する故に甚しき酸味は齒に害あり、而して糖分も酸敗すれば酸となりて、齒質を侵すものと知るべし、されども酸き物の齒を侵すは琺瑯質にあらずして、齒頸なり、齒頸は酸類に侵さるゝ時は、其部粗糙となり食物附着して齒壚を生ず、齒壚の積るに從ひ齒は漸々齦肉より離隔され、爲に齒の中に養分を取ること不十分となる故に衰へて搖ぎ始むるなり。

食後は齒の間に多少の食物が殘留するものなり、金屬製ならざる小楊枝にて齒間を掃除すべし、若し等閑に附する時は、齒間の殘留物腐敗して、黴菌に侵され、遂に齒の實質中に蝕入るに至るべし、されば我國に於て毎朝盥嗽するは最も宜しき習慣なり。

盥嗽に用ゐる楊子は必ずしも、西洋流の刷毛に限らず、我國にて使用し來れる房楊子なども衞生上宜しきものなり。

齒磨は炭酸マグネシユーム、沈降炭酸石灰、木炭末、等にて製せしは無害なり、硅酸を含むものは有害なり。即ち硅酸は齒の琺瑯質と同質なれば、之を用ゐる時は齒の磨滅甚し。總じて齒磨は指頭にて之を擦り粗鬆せざるものを以て可とす。近來澱粉を用ゐ、又は流動躰のものなどあれど、粘着する樣にて不快の感あり。又齒磨石鹸も好ましからず、或は收斂藥、防腐藥を齒磨に混ぜしもあり、其中にて龍腦の入りたるは香氣佳く味ひ涼しく且つ防腐の効ありて甚だ宜し。

鐵漿は其利害につき種々の説あれども、好ましきものにあらず。平生其剝脱をおそるゝ爲に齒の掃除十分ならずして、不潔を招ぎ、又染めしものをはがして再び染めかへる時は、強き酸類などを用ゐる故に、口中を刺戟し齒質を損す。近頃之を用ゐる人の次第に減少せしは衞生上喜ぶべきことなり。

◎家計收支の實況

東京、芝、會員、某女報

昨年主人在宅中の家計收支を御目にかけ、御批評を願ひし處、懇切な御批評を受け、誠に參考になり日々實行して居りました處、夫が本年歐洲へ留學を命ぜられ、今は海外万里の外に居りますから、日夜心配て、唯々手紙ばかりを賴みとして居ります、不在中は事なきまゝ物を習つて居りますから、學費が多く出ます、其他不平均の事共ありますのは、實家と同居して居りますからです、家賃などは其一つて、食費なども幾分か安くなつて居ります、夫は其筋から洋行さして戴て居りますが、頂戴致す洋行費のみにては、到底不足て御座いますから、私は出來る丈け儉約して送金せねばなりませぬ義務が御座います身分てす、どうか御遠慮なく御批評下さいましたなら、私は大に喜んで、今後實行致します、御恥しさをも顧みず御賴み申ます。

一家族三人　主人と私と雇人但夫は海外留學中

收入之部

一金百六拾圓參拾參錢　一ヶ月分收入高

內

金百參拾貳圓　俸給
金貳拾圓　基本財產利子
金八圓參拾參錢　雜收入

支出之部

一金五拾壹圓五拾貳錢　一ヶ月分支出高

內

金四拾圓九拾錢　食費以外諸費

金拾壹圓　家賃
金四圓四拾壹錢　交際費
金壹圓參拾六錢二厘　圖書費
金六圓　主婦學費
金貳圓五拾錢　被服費
金貳圓　下女給金
金壹圓四拾四錢　車賃
金貳拾貳錢五厘　小間物
金壹圓貳拾八錢　郵税
金貳圓貳拾錢　生命保險料
金貳圓六拾參錢　所得税
金壹圓參拾壹錢　雜費
金貳拾貳錢　器具
金五拾三錢　結髮湯錢
金五拾六錢　石油
金壹圓拾錢　雜品
金壹圓壹錢　衞生費
金貳拾錢　慈善費
金九拾貳錢　臨時費

金拾圓六拾二錢　食費總額

金四圓　米代
金壹圓　牛乳代
金貳圓四拾錢五厘　青物副食物類
金七拾六錢　醬油、味淋、味噌
金壹圓四拾四錢五厘　肉類
金五拾八錢　薪炭費
金四拾三錢　水道費

殘金百八圓八拾壹錢　銀行へ預く

評　記者が妄評に斯くも重きを置かれ候事却つて赤面致し候。記者は人樣の家政に彼是妄評を試み候へども、自ら省みれば不經濟の事のみ多く慚愧の至りに候。總じて世の中の事は批評は易く實行は難きものに候まゝ、批評者はさのみ貴ぶべきものにはこれなく候。さて、此の家計收支に一言注意致したきは、「既に多額の基本財產を有せられ候に付き、家屋を買入られては如何に候哉」と申すだけに候。

◎各地特殊の料理

（五三）茄子の青齏　備中國　愛讀者某子報知

中茄子の蔕を去り皮を剝いて竪に二つに切ッて湯煮をなし水に浸してあくを去りそれを竪に薄く切り手にて搾りて水氣を能くとり置きさて靑菜の葉先ばかりを取りて擂鉢で能く擂りそれに白味噌と砂糖と山椒とを加へて再び能く擂りまぜそれを酒にて延ばし前の茄子を入れて齏へるなり山里の精進料理なれば都の姉君の中には知り給はざる方もあらんかと時節から思ひつきしまゝをかいつく

（五四）鰌の餡かけ　群馬　愛讀者某報知

鰌を全のまゝ酒で能く煮て、温い中に俎の上に取上げ、一尾づゝ左の手で頭をおさへ、竹串やうのもので肉を拔き取り、さて前の煮汁に味をつけ、程よく葛をひき、別に鷄卵をわり、鰹魚の煎汁を入れ、（但し煎汁の量は鷄卵の三分の一程の割合なり）能く攪拌して、器に入れたまゝ湯煎にし、それを椀に盛り、前の鰌餡をかけ、山椒の粉をふりかけて用ふ。さて頭と骨との殘りたるも、之を取り捨てずして、能く擂鉢にて擂り、豆腐、葱、牛蒡など入れて、味噌汁に作るなり。田舍にては、之を忍鰌といふ、蓋し鰌の形は見えざるに其味のする故ならんか。

（五五）阿部川海鼠　静岡市　愛讀者某報

海鼠の前後を切ッて能く腹を出し、餅を燒くやうに鐵弓にかけて燒き、中まで火力のとほりて、柔かくなりたる時、筒切りにして、砂糖黃粉にてくるみ、茶受に用ふ。又乾した海鼠、すなはち海參にて作るには、温湯に浸し、更に湯煮を爲し、十分柔かになりたる時、二つに割りて腸など能く洗ひ去り、砂糖、黃粉にて用ひてよし、海鼠を嫌ふ人は少からされど、好く者には手輕き珍味となり居れり、餘り廣く行はれざる異樣なる料理の由聞き及べるまゝ、特殊の中に入るかと思ひてかくなん。

（五六）空知汁　北海道小樽　愛讀者報知

鷄肉を骨のついたまゝブツ切りにしたのと、豚肉を五分位の采の目に切りたるとを、一緒に鍋に入れ、水から煮初めて、一時間餘煮出した後、大根、胡蘿蔔、牛蒡、馬鈴薯などを入れ、味噌汁又は淸汁に仕立てますのです、薩摩汁に似たやうなものですが、北海道では、之を空知汁と申します、又汁にせずに、醬油、味淋で煮つけたのを、空知煮と云ひます。

うすひのみねをこえけるときに　評議員　下田歌子

山ゆりのつゆふきこほす朝風に
ぬれてかをれる袖のすゝしさ

豊か濱なるうるはしき小石を拾ひて
姫宮の御まへに奉るとて

君かため今日もひろひぬさゝれ石の
いはほとならん世を祈るとて

體育といふことをよみてよと人のこひけるに

岩かねのかたき心は劍太刀
きたへたる身に宿るなりけり

本會の爲に奥村刀自が暑中をもいとはて盡さるゝをよめる　評議員　中山幸子

あつさをもいとはてつくすま心を
ふみよむたひに思ひこそやれ

おいの身のあつさいとはす國のため
つくすこゝろのいさましきかな

酒匂の別莊にてよめる

朝日さすふしの高ねに神代より
のこりし雪のまはらにそみゆ

しつか家のあれしまかきも朝顔の
さかりをみればうつくしきかな

同海邊に出て朝日の登るをまちつゝ

いまそいつるおほ海原の天津日を
みむとて磯におり立にけり

海邊凉

あつさをもわすれつるかなしら浪の
よするなきさにみるめひろひて

夏朝月　會員　岡村たかゑ

みしかさは空にしられて夏の夜の
明けつるかたにのこる月かげ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

通牒

評議員幹事長副幹事長幹事方の御寫眞本會に於て入用に付御差出被下候樣豫て御通知置候へ共未だ御差出無之方不少且つ御新任の方も有之旁々更に及御通知候間此際可成速に御送付被成下度此段及御通牒候也

明治三十六年九月十日　愛國婦人會

評議員幹事長
副幹事長幹事　殿

◎第十一師團に弔慰金を贈る　去月廿六日第十一師團(善通寺)砲兵十一聯隊內にて演習射擊の用に供する爲、火藥裝塡所に於て榴霰彈の塡充に着手中如何にしけん、轟然たる響と共に火藥爆發して、裝塡所を破碎し、執務中の軍曹川口新七以下九名は何れも五體飛散の慘死を遂げし趣報知に接し、本會は總裁殿下の令旨に由り遭難兵士の遺族に對し、左の書面を添へ、弔慰金を贈與したり。

拜啓今般不慮の變災の爲、貴聯隊中數名の死者を出し候由、爲邦家痛惜の至に堪へず候。就ては不取敢本會の微志を表し度乍輕少金拾參圓五拾錢香川支部幹事長小野田安子を以て差出候間罹災者の遺族へ平均御配賦被下度御慰問旁御依賴申上候也

明治三十六年八月三十一日　會長理事名

野戰砲兵第十一聯長宛

◎評議員會　暑中休會中の處、本月下旬頃より開會の筈なり。

◎近衛相談役　本會に最も深き關係ある相談役近衛公爵は今春來二豎に侵され、兎角捗々しからず、皆々全快の速なる事を切望し居たるに、此節又々餘病を加へられたる由にて此程天皇陛下には岡侍醫局長を同邸へ差遣されたりし程なるが、本會よりも評議員濱尾作子氏は代表者として過日同邸へ見舞はれたり。

◎奥村刀自　奥村刀自は石川縣及び富山縣の遊說を終へ、近日歸京の筈なるが、石川縣にては暑中殆んど四十日間遊說を試み同縣支部幹事長村上須磨子氏及び同地師團長夫人大島評議員等の勘からざる盡力により二千余人の會員を得、同縣能美郡の如きは郡長夫人の盡力にて一郡五百二十餘名の會員を得たるよし。

◎協約狀の發送　新に制定せられたる會則により、會員には協約狀を送る事となり、石川縣富山縣の新入會者には既に發送し始めたり。其文面左の如し。

何　氏

本會忠愛の旨趣に贊同せらるゝを以て會則に照し協約して何々會員に列す

年　月　日　總裁印　會長印

◎奥村刀自石川支部遊說日記（承前）

七月十四日　正午金澤を發し能美郡寺井村に向ふ。是より先村上幹事長訪問せられ、支部より案內者として佐藤事務員を同行せしめらる。小松驛にて下車す。沼崎郡長、同夫人、松坂村長及び山口富樫の兩會員增田伊作氏伊藤郡書記其他小學校女生徒數十名出迎へたり。一同の先導にて能美郡役所に休憩の後、會場たる稱德寺に至り、午後三時より演說す。同地の醫士北野恒夫氏は刀自渡淸の際の知人とて、贊成の演說を試みられたり。聽衆約七百名即時拾數名の入會者ありき。同夜は同寺の好意により宿泊を許されたり。

同十五日　午前八時より約二時間、寺井小學校兒童の昨日の會場に臨むはざりしものゝ爲、同校に於て演說す。了つて稱德寺を發し小松町に向ふ。松坂村長武田郡書記及び會員柳田すき子同町まで見送られたり。午後〇時二十分着、能美郡役所に休憩の後、同郡教育會公會堂に至り、沼崎郡長の紹介にて演說す。聽衆六百餘名即時廿六名の入會者ありき。米谷貴族院議員夫妻、沼崎郡長夫妻、山口郡書記夫妻、富樫鎌谷兩女教員、增田伊作氏及び武田伊藤兩郡書記等特に斡旋せられたり。尙郡長夫人は本會創立の際東京にて入會せられたる由にて、昨年九月此地に來られたる折には一名の會員だもなかりしに、當日迄に特別通常の兩會員合計百五十餘名を勸誘せられたりと云ふ。ありがたき篤志家と謂ふべし。

同十六日　午前九時半小松町を發す、沼崎郡長夫妻、山口郡書記夫妻增田伊作氏其他有志數名同驛迄見送られたり。汽車發するに臨んで增田氏の發聲にて愛國婦人會萬歲、奥村女史萬歲を三唱せり。同十一時江沼郡大聖寺町に着す。松崎郡長夫人會員黑田よはひ子外三名、女教員數名及び岩崎郡書記諸氏に出迎はれ、大谷派慶德寺に入る。午後二時より同寺本堂に於て演說す。聽衆約七百餘名即時廿三名の入會者ありき。此夜同寺に一泊を許さる。

同十七日　午前九時大聖寺町を發し江沼郡山代村に向ふ。幹事松島都子、黑田よはひ子、波多野たみ子、柳川龜菊子の三會員及び岩崎郡書記等援助として一行と共に出張せられたり。同十時着、同村助役途中に一行を待受けられ導いて、くらや旅館に入らる。同村專光寺に於て午後三時より演說す、聽衆二百五十餘名即時入會者四名。同郡山中町の山中小學校長小泉氏より是非出張すべき旨依賴あり、又小松町よりも今一回演說の請求ありたれども豫定の動かし難き爲、金澤市に開會の後赴くべき旨を答へたり。此夜くらや旅館は慈善的に無料宿泊を與へられたり。

同十八日　午前九時强雨を衝いて出發し、動橋町より汽車にて石川郡松任町に向ふ。同十一時着、幹事柴田たゞ子、會員奥田某並に奥田事務員等出迎はれたり。午後三時より同町公會堂に於て開會す。聽衆約四百名即時入會者二十三名ありき。柴田郡長　松本警察署長　青木町長等特に盡力せられたり。

同十九日　午前九時出發同郡鶴來町に向ふ。柴田郡長奥田書記同行せらる。同十一時着、午後三時より同町小學校にて演說す、來會者約四百名、即時若干名の入會者あり。小森町長山守助役、岡田警察署長、松浦專賣局事務官鶴來小學校長職員其他有志諸氏盡力せられたり。閉會後大谷新法主に至急面謁の必要生じたる爲、金石町に向ふ、行程五里餘、最初より同行の佐藤縣屬また案內の爲、同道せられたり。

同廿日　午前七時金澤市に歸る。村上幹事長其他有志家數名訪問せらる。午後二時より縣會議事堂にて演說す。聽衆約一千名、男子には本田男爵米谷貴族院議員村上知事增永書記官牧野參事官高安醫學專門學校長宇佐田砲兵聯隊長臼井典獄沼崎能美郡長山田醫學士外縣官數十名あり、婦人には本會評議員師團長大島男爵夫人、本多男爵夫人、長男爵夫人、本會幹事長（村上夫人）兩副幹事長、幹事數名佐々木院長、中村聯隊長庄田軍醫正の各夫人並に陸軍將校夫人數十名あり、多分は同市上流の人々にして婦人の來會者多かりき。即時入會者五十名。幹事長以下各職員等盡力せられたり。

同廿一日　午後二時半より金澤市大谷派別院に於て演說す、聽衆約千餘名即時入會者三十餘名、尙續々申込ある樣子なりき。村上幹事長增永高安兩副幹事長幹事數名並に長男爵母堂本多男爵夫人市內有力家女學校教員大に斡旋せられたり。

同廿二日　午後一時より高等女學校生徒の希望により同校に於て開會す。聽衆は同校三四學年生徒並に教職員の有志婦人のみにて約三百名あり。即時十二三名の入會者ありき。渡瀨市長、小川助役支部事務員佐藤縣屬市役所員等斡旋せられたり。閉會後米谷貴族院議員よりの招待にて同家銀行に至り鄭重なる饗應を受く、因に云ふ、米谷氏は先年東京にて刀自と面識ありて、過日小松町に開會の際にも夫妻とも出張盡力せられ、尙ほ此度夫人の名義にて本會事務處建築費の內へ金百圓を寄附せらるゝ旨を約せられたり。

同廿三日　午後二時より偕行社に於て評議員大島男爵夫人以下各將校夫人に對し演說す。此會は同夫人の發議にて演說會を兼ね慰勞會を開かるゝ筈なりしかども時節柄宴會杯の義は辭退したるにより、茶菓の饗應あり、且つ刀自へ土產物を贈られたり。當日出席せられたるは、大島師團長須永參謀長、中村聯隊長、小原輜重兵少佐、服部師團副官、芦澤工兵大隊長、野溝聯隊區司令官●吉田輕理部長の各夫人其他將校夫人約五十名の外、服部少佐、三井理事、後藤大尉淺野軍吏其他將校數名なりき。尙村上幹事長は連日萬事深切に周旋せられ、一戶少將は夫人出京中に付き自ら代つて奔走せられ、牧野參事官は松平正直男の令弟なる由にて、前日來夫妻共に盡力せられたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮廷録事

◉廸宮殿下　同殿下昨今の御嗜好品は御男性の事とて武勇なるものを好ませられ、近頃外國より御買入の闘牛の玩具騎牛の將など愛させたまひ、殊に馬牛など動物の畫を喜ばせらる。又御記憶力もよく、一度御習ひ遊ばしたる動物の名は決して御忘れなく、再び動物の畫をみそなはせば直に其名を當てさせ給ふよし。殊に御兄弟仲極めて御睦しく、珍しき玩具類ある時はお附の人をして淳宮殿下を呼ばさせ給ひ、御樂みを同じうし給ふよし。一日の御日課は成るべく自然の發達に任す主義にて御遊戯も御好の儘にて朝夕は箱根山中氣爽なる處を乳母車にて御運動遊ばされ、日中は御殿の裏山の緑陰深き芝生の上を靴下の跣足にて駈け歩かせらる〻等自然に御體量も八十五匁ばかりを増させられ、いと御健勝に渡らせらる〻由承る。

◉淳宮殿下　目下箱根宮ノ下藤屋別莊に御避暑中なる淳宮殿下には、過日少しく腸胃に御微恙ありし爲御食事の注意を嚴重にし、御體量も少しく減少の御有樣なりしが、爾來日增御快方に赴かせられ、最早幾んど御平常通に快復あらせられたる由。

◉富美宮泰宮兩内親王殿下　兩殿下とも益々御健勝にて、侍醫より一回も御藥を進め參らせし事なく、箱根御用邸に御避暑中は日々の御運動怠りなく遊ばされ、毎日午前六時に御起床午後八時より九時の間に御寐に入らせられ、御食事は朝夕日本料理晝食は洋食を召させらる。御用邸中には四ヶ所に溫泉を引き毎日一回づ〻御入浴相成るよし又暑中は各教師に休暇を與へさせらる〻御思召より、御課業は一切御休止にて、唯近侍の人々より御復習を申上ぐるのみと云ふ。又時折同地御滯在中の兩皇孫殿下を御訪問親しく御對顏あらせらる〻よし。

世論一斑

◉保田砲兵大尉の兵營と家庭　新兵にして入營後行狀の修まらざるものあるは、家庭の治まらざるによるものにして、教育上家庭の狀況取調べを要する旨を陳べて曰く「入營者の中には、種々樣々の身の上、性質、行狀、人々との關係、疾病、習癖などがあることゆゑ、之をよく知りて兵營生活を圓滿に遂げさせ、軍隊教育の實を擧げるといふには、是非とも父兄等の家庭と兵營との事情を疏通するが第一番の必要なることは明かなり。」次に家庭より兵營に送金するの弊を陳べて曰く「軍隊の方にては送金をする父兄の多いのは教育上大に迷惑する所なり。富裕にくらす家にては、度々送金を請求しても當然として苦情もあるまじく、却て送金するなといはゞ苦情の出ることならんかなれども、由來兵營の起居は全く在郷中と異なり、貧富の別なく服裝は同一にして食ふことも寢る所も同じく、その親交は兄弟も同樣な朋友なり。然るに同室内の一人が郷里より金錢を得て、日々酒保に就き或は外出して料理店に飲むとかいふ規律の無い遊興をすることがあると、誰しも金をつかふは不快のことでない故に、自然と誘はれてそれがやりたくなるなり、上官の訓誨も忘るとにはあらで、過分の金錢を父兄にねだるといふ弊風を生ず。」と論ぜり（大阪朝日新聞）

◉娛樂と國力　中外商業新報の社説に曰く、人生缺く可らざる最大の條件たる快樂の節制を強ふるは情に於て忍び難き所なりと雖も、人生の快樂は必ずしも劣情を漏らすべき底のものにあらず。精神上の快樂と謂へば、甚高尚にして俗人特に下等社會に解し難きが如く聞ゆれ共、其實決して然るに非ず。卑近なる書冊、猥褻ならざる演劇及音樂を始め、落語講談と雖も適當の改良を加たる者は精神的の修養となること少からず、詩歌俳諧の如きも或程度の教育ある者には其好尚を奬むるに足り、圍碁、將棊其他列擧し來れば其數素より夥し。今日の如く婬邪の習風一般に行はれ、精神上の快樂に意を注ぐ者少なきに於ては、一に國民の氣力を怯弱にし、二に一國の富力養成に妨碍となること大なり、即ち國家の根基は風敎の宜しからざるに依て洵に懸むべきの實狀に在りと謂ふべし。社會の上流に位せる人々は自ら其地位を顧みずして婬靡の娛樂に心醉す、是を以て下層の俗民は之に傚ふこと最甚だし」と論じ、其改良方法として、家庭の和樂を增進する事を計るべしと論結せり。

◉弘田醫學博士の小兒と靴　小兒に靴を穿たしむることに付て論じて曰く「小兒に靴を穿かせる事は至極賛成です、歩き初めの小兒には親達が結び草履を穿かせ、手を曳いて足を運ばせるが、此結び草履と云ふのが第一不賛成だ。未だ運びの付かぬ足へ紐を結び付けるのは足を不自然にする始で、それから少し成長すると下駄を結び付けて穿かせるが、之は實に危險です、小兒のとき足を轉躓して筋を違へたり、躓いて轉んだりする弊害は多く結び付けた下駄を穿かせる事から起る。それでなくとも子供は歩き慣れぬ故中心が旨く取れず轉び易いもの、靴は足へ輕く穿かせてある故、足の運びに少しも不自由を感じないから、小兒の穿物として靴の利益なるは素人考へにも見易い道理である。（報知新聞）

◉母親の心得　東京朝日新聞の浦門といふ人の論に曰く「子供の如く遊び相手を欲しがる者はなし。されば母たり保姆たる者は終日之が相手を爲さゞるべからず。されとも略同年の子達と遊べる時の如く、兒童を滿足せしむることは、母の心、母の情を以て百方苦心するも得べからず。故に少しばかり不滿足なる家庭の兒童と雖も、相共に遊ばしむるは、寧ろ益の多くして害の少きを認む。況して自宅にて、母親監督の下に、連立つて遊ばしむれば、相方得る所少からず。然るを我上流社會の如く、其子弟を學校以外に殆んど出入せしめざる餘弊は、思ひ知るべきなり。（東京朝日新聞）

◉女鑑記者の讀書に就て　如何なる書籍を讀むべきやに付て論して曰く「今の書籍雜誌といふものを見るに、多くは少年少女の好奇心を利用し、巧に之を挑撥して、その好奇心に投せんとするものなるが如し。故に小說、詩歌雜書に論なく、先づその表紙と口繪とを美麗にして、人目を炫燿し、その內容また艷文麗詞を双べて、うまく人心を眩惑せんとするに汲々たらざるなき也。少年少女たるもの、安んぞ之に對する、燃ゆるが如き熱をして、益々熱せしめ、沸くが如き血をして愈々沸かしめざるを得んや。古聖いふ血氣未だ定らざるときは、之を戒むる色にありと。今の小說、詩歌、雜書の類にして、戀愛を說かざるものあるか。男女相對の關係を離れたる清潔なるものあるか。ア、輕佻の雜、浮華の文字の社會に害毒を與ふること、それ幾許ぞや。若し選ぶところなくして漫然之を讀まば、寧ろ初めより讀まざるの優れるに若かざる也。是に於てか、書籍の選擇鑑別は、當今我國に於て、頗ぶる大なる急務ならざるを得ず、云々と論ぜり。

雜報

◉本號の挿畫とせる碧血松の由來　我會の主事陸軍少將宮中顧問官佐藤正閣下の年ごろ愛玩せらる〻盆松なり。其碧血と名づけられたる由來を訊ぬるに、去にし明治二十七年日清戰爭のをり、世に鬼將軍の雷名を博せる閣下の率ゐ給ふ元山枝隊が、平壤に於けるたぐひなき激戰に、我がつはもの〻鮮血迸りて松にか〻りつるを、水野大佐が紀念もとて其の松を根こぎにして閣下に贈られたれば、閣下は其を盆栽にしつらひ、携へて凱旋し、旦夕めで給ふに、綠色ます〳〵濃に、老幹いよ〳〵韻を添へぬとぞ。斯くもめでたき由來ある松なればとて、世に名だ〻る四條流の書伯熊谷直彥氏が就いて摸寫されたるを、玆にこひえてか〻ぐることとはしつ。

◉海軍下士卒共勵會　其詳細は別項記載の佐々木海軍大尉の寄書により、審かなるが、此程皇后陛下より特別の御思召を以て金五百圓と、優渥なる御令詞を賜はりたりと云ふ。同會に從事の夫人等は右の恩賜を此上なき光榮とし、一同感激、益々事業の發達に勗め、誓て其目的を達せんと期し居らる〻由。

◉臺灣の女子留學生　臺南縣の女學生呉笑（十六）黃鶯（十七）兩女史は六年前より明治女學校に入學し來年四月を以て高等女學校の科程を終るべき筈なるが、今度總督府の選定を受け、官費留學生として更に數年間同校高等科に留學し、他日歸臺の上該島の女子教育に任ずる由。

◉臺灣の纏足廢止問題　臺南廳に於て同問題を廳參事會に諮問せし處、左の答案を得たるよし。

此弊習を一洗すべき方法は保甲又は農業組合を利用して之を勵行するを可なりと信ず。抑も本島從來の習慣に就て言へば、本島の兒女は齡五歲に達すれば纏足を始むるを例とせり、故に現時五歲以下の女兒並に將來出生すべき者に對し纏足を禁ず可く、農業組合規約中に制裁の條項を加へなば如何、或は此の惡弊を一掃するを得ん。

◉高等女學校教員試驗　同試驗の家事科豫備試驗問題は左の如し、家庭の主婦の方試みに答案を付して見給へ。

家事科豫備試驗問題

一、給水法の種類得失及び使用者の注意す可き要點を擧げよ

二、綿布絹布麻布毛布の四種を用ゐて單衣を調製せんとす右材料に就て之れに適當なる物各三種を擧げ且つ之れを採擇したる理由を述べし

三、月收入百圓家族七人（親一人主人主婦子供二人書生一人下婢一人）

右の假定に依りて八月中の日用帳を調製す可し

但し收支を通じて廿事項內外とす

四、實布的里亞に罹れる小兒の看護並に發病前後の狀況及び治療に關する注意を詳記すべし

◉女子商業學校新設の計畫　商家の女子及び將來商業界に身を委ねむとするものに、實用に適切なる學科を教授するの目的にて、今回神田區錦町二丁目私立東京商業學校內に女子商業學校を新設する趣なり。校長に和田垣博士を戴き學監には成女學校の嘉悦孝子氏を推戴し、認可あり次第生徒募集に着手する筈なるが、修業年限は二ヶ年にて、入學程度は高等小學校二年修業のもの、年齡は十四年以上とし、學科は習字數學簿記等、主として商家の主婦となり、又は銀行會社の計算方となる目的の人々を養成するにありと云ふ。

◉女子美術學校　同校は既に九月一日より新學期を開始したるが、新たに三十四名の入學生あり。又校堂及寄宿舍をも新築に着手せしが寄宿舍は既に落成し、校堂も本月十五日頃には落成する趣なり。

◉東京音樂學校　先般來生徒募集中の處豫科に志願せしもの八拾六名、乙種師範科に七拾七名あり。去にし三日より試驗執行せしが、最早や結了濟につき、近々成績を發表するよし。

◉赤堀料理教場講習會　日本橋區久松町九番地同會教場に於ては講習會員益々增加せるより、既に淺草區東三筋町廿七番地にも同教場を設立しあるは世人の知る處なるが、此際暑季休暇も終りたれば去にし八日午前九時より前記二ヶ所に於て例の如く講習を開始せり。又今期より日本西洋割烹及び日本菓子科とし日本料理は毎週水曜日午後一時より四時迄、西洋料理は毎水曜日午前九時より正午迄にて教授は赤堀峯翁、同峯吉、同キク、同キヨ、小村留吉、小林三内等其任に當り懇篤に教授する由。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

廣告

婦人最良藥
子宮病血の道産前、産後の諸症にて種々の藥を用ゐて其効なく久しく病床に苦しむ人は本劑を試みよ
●如何なる難病も二三週間に全治す

●詳しき効能は大廣告の時御注目ありたし
定價（一日七錢五厘、三日廿錢、一週四十五錢 二週八十五錢、三廻り一圓二十五錢）
●本舗へ御注文の方は病人の容躰御申込あれ
本舗 東京日本橋通四丁目 津村順天堂 大阪堺筋鹽町北入 津村順天堂
中將湯は全國各藥店にあり

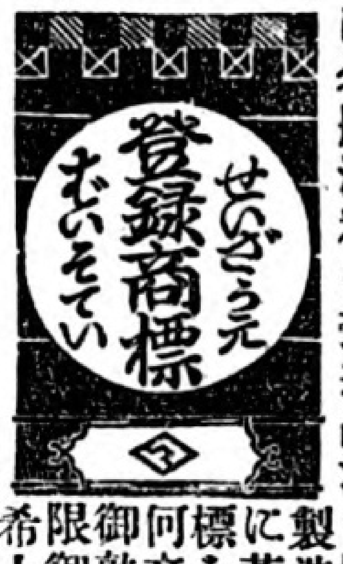
專賣特許機罐式据風呂
弊店多年專賣特許竈發賣致居候處今般專賣特許据風呂製造發賣開始仕候間益々御引立伏て奉懇願候
日本橋區蠣殼町貳丁目十五番地 名和商店

●水原産科婦人病院
○所在神田區猿樂町十二番地（電話本局千七百〇九番）○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立産婆學校の設あり

●女生徒募集
去る九月一日より授業開始せり裁縫科及和洋割烹科共補缺募集（規則入用は貳錢郵劵を要す）
東京神田淡路町二ノ九 女子裁縫和洋割烹 專脩舍

婦人ふるちの藥
定價一貼五錢三貼十四錢五貼廿三錢七貼三十二錢
一此藥劑は婦人血の道一切の藥にして清血を補ひ古血をめぐらすとかんようにして少しも脾胃にさわるとなく血を下すにてはなく血をみちびき通ずる藥なり第一月々めぐり少き婦人はたッぷりと見るなり數年古血滯りある婦人は其のふるちのかたまり殘らずつうずるなり●○南まけづつう目まひによし○ふるちとゝこほり○ながち○しらち○手あしゝびれ○血しやく○ひゑるときさしこみいたむに功あり○むねこしいたみ○つぎむしによし○さんごあとはらのいたみはいかほどつよきいたみにても一ト包にて功あり○さんごわるちのとどこほりに用ひて功あり○猶能書にくわしくしるす
東京市本所區東兩國横網町一丁目
本家製藥所 齒磨店 伊勢吉本店（電話浪花二一七五八）

全國有名小間物店にあり
定價 壹袋壹錢 罐詰五錢



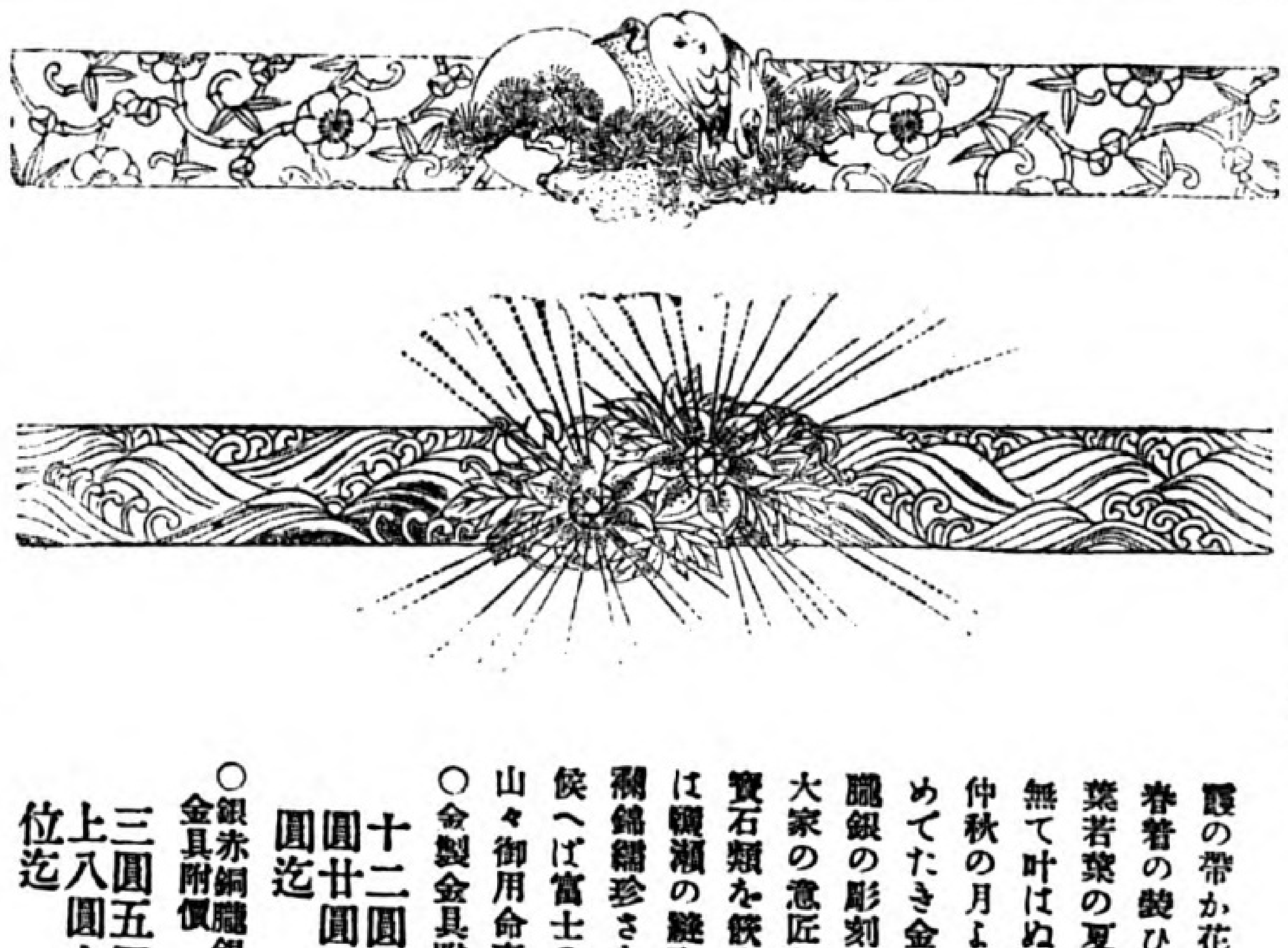
此名題洗粉は皆々樣の御引立に依り益々盛大に相成難有仕合に奉存候然るに近來諸方に名題洗粉の摸造品澤山顯はれ候に付弊舗製造品には袋の裏面に芝居櫓形の登錄商標を相印し御座候間何卒御求の節は篤と御熟覽の上多少に不限御用向の程偏に奉希上候也
東京淺草區黑船町 梅素亭謹製
（電話下谷二百三十四番）

全國各學校徽章賞牌ハ弊店ノ獨專業ニ有之候 價格表ハ御報次第呈送ス
日本帝國徽章商會
東京市麴町區飯田町三丁目 電話番町八百五十七番

ヴワイヲレット製
壽美花おしろい
伊勢吉壽美堂製
定價 大瓶二十錢 小瓶十二錢
定價 大瓶廿五錢 中瓶十五錢 小瓶十錢

集金專業
各種集金、保險料、諸會費、寄附金
賣掛代金、新聞雜誌代金、月賦金
各種講掛金、納金、送金、代金引換等
市內集金所
東京市麴町區飯田河岸拾九號地
電話番町八百九十六番
創立明治三十四年取集手數料低廉業務確實不拘多少店員參上御用相勤可申候

貴金製金具附帶留
霞の帶か花を飾る春着の装ひ扨は青葉若葉の夏ごろも無て叶はぬ帶留に仲秋の月より光りめでたき金銀赤銅朧銀の彫刻は美術大家の意匠を凝し寶石類を鋏入し組は觀瀬の縫取り金襴錦繍珍さまぐ候へば富士の雪の山々御用命奉願候
○金製金具附價 十二圓十五圓廿圓六十圓迄
○銀赤銅朧銀等之金具附價 三圓五圓以上八圓十圓位迄



白牡丹本店
東京市京橋區尾張町 松田幸治郎
電話新橋五百五十一番

定價綠藍紅彩蝶番ひ罐詰六錢五厘ボックス入三錢袋入廿八錢
西洋色白くなる洗劑
壽美花あらひ粉
東兩國 伊勢吉 壽美花堂

本店 卸部 東京日本橋區長谷川町貳番地 美濃磯本店
電話浪花二八九九 電略ミイソ

小賣部
美濃磯本郷支店 本郷區本郷五丁目十五 電話下谷二四一五
美濃磯淺草支店 淺草諏訪町廿貳
（美）小田商店 芝區新櫻田町九番地
伊澤商店 牛込神樂坂町二丁目八
伊澤支店 四ツ谷傳馬町二丁目

諸學校女生徒の寄宿に應し夜間英語を教授す
近藤女子監督家塾
東京市小石川區春日町四十三番地

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎特約販賣店
◎東京堂 神田區表神保町三番地
◎東海堂 京橋區銀座四丁目

發賣 大日本 守田寶丹 商標

起死回生

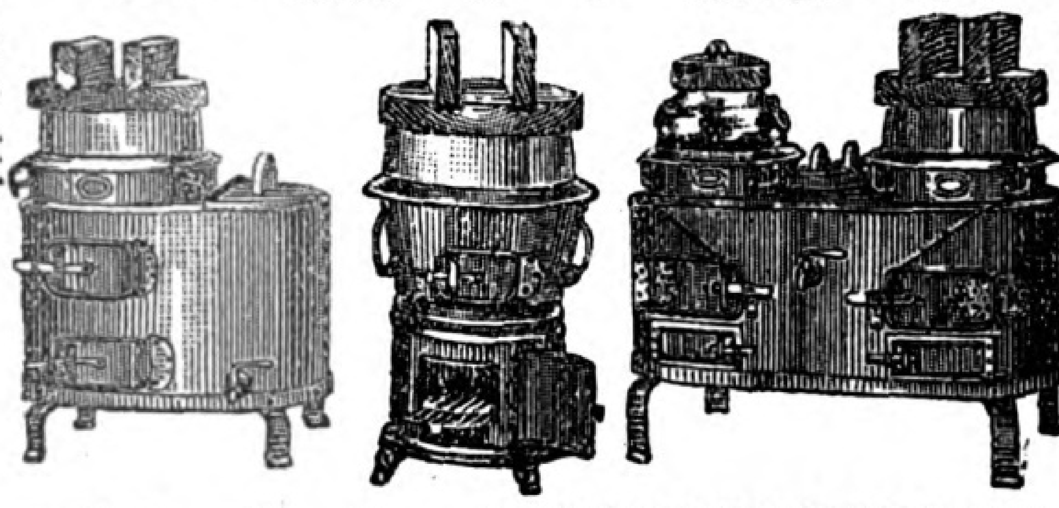
寶丹

東京市下谷區池之端仲町廿七番地
本舗 守田治兵衛 謹製

◎去る五月二日發賣禁止となりし寶丹は池之端七軒町三十七番地同姓名異人の摸擬藥にして弊舗に毫も關係なし誤解の爲め今に至るも猶屢々御尋の諸彥これあり候に付此段廣告致候幸ひに拙家寶丹恩求の諸君御安心の上益々御愛顧の程偏に奉希上候也

第五回內國勸業博覽會
三等賞牌受領

薪炭兩用
富貴竈
專賣特許



●本器は世間在來竈の不備の點を悉く改良し完備したる構造にして製作の精良堅固なること眞に無比なり價は實驗に由て知り給ふべし

●說明書御一報次第進呈す

●販賣店は全國到る所にあり

○營業品一斑

輕銀 アルミニユーム製食器

アルミニユーム製食器は高尙優美にして衞生に適し經濟なる美術的器具なり
此外舶來琺瑯引器具及鐵瓶湯沸銅鐵物

東京淺草區茅町淺草橋際（電話下谷一九二三）
發賣元 阿部彥四郎商店

正四位勳三等 醫學博士 三宅秀先生著
大日本女學會發行
（日本女子大學校敎科書）

家事衞生

總クロース綴ぢ金文字入り菊判二百四十頁定價金六十錢郵稅金六錢

此書は文部省學校衞生顧問內務省中央衞生會委員元醫科大學部長なる三宅博士が文部省の囑託により講義されたるものなり書中に衣服食物住居育兒看病の五編ありて我國一般の民度に應じ何れの家にても實行に差支なき樣懇切に說示されたる世に類なき家庭主宰者の寶典なり

●賣捌所 東京神田區一橋通町七 有斐閣

第三卷第八號
八月十五日
發行

毎月一回十五日發行
毎號紙數百四十頁
定價十五錢全國無遞送料

本誌の特色

◎本誌の目的は、婦人をして常識に富み、世態に通じ、以て其本分を完うせしめんことを期するに在り。されば其所說、新に流れず、舊に泥まず、一宗一派に偏らず、而も世に阿りて、徒らに俗流の歡心を迎へず。◎本誌は輕佻浮薄の弊風を避けんが爲に、表紙口繪など、不要の裝飾を省きて、專ら記事の精選を努む。◎本誌に收錄する所は、普通の婦人雜誌に掲載する、文學上家政上の記事のみに止めずして、●科學の大意を揭げて、學理の槪念を得しめ、●和漢洋名著の綱要を揭げて、諸書の涉獵に便せしめ、●法制理財等の事を平易にものして、世態に通ぜしむ。◎本誌は、野卑なる言語及び劣等なる戀愛文字を避け、下品なる廣告を揭げず。◎本誌は勤儉貯蓄の美風を奬勵せん爲に、毎號慈善貯金切手を附して、其模範を示す。◎本誌讀者は、みやび會員となり、其歌•文を本會に送附して、名家の批評添削を受くることを得。

發行所
麴町區下二番町三七
電話番町（一三三〇番）
大日本女學會

獨逸フリンドレンス最新式
試驗用 諸黴菌 顯微鏡

本品は百倍乃至千倍强品種々調製價廉なる故醫學衞生敎育家の好評を博す肉眼に見えざる病毒菌類一目に見る別世界の如し何人もルス有無の試驗は心得べき者該品は食物の黴菌飲料水バチ別製三圓限千個壹圓九拾五錢にて發賣す小增元品相違の時は返戻不苦候特約販賣人申込あれ包送料は拾錢
發賣元 東京京橋區本材木町三ノ四 特報社雜貨部

麝香獸印
ムスク香水
本石町四 芳香藥種問屋 松澤商店

●盃類圖案一班
（金、銀、輕白金、白銅、安質母尼杯及木盃製作應用）
玉田先生畫

山海圖

功表ノモ大ル賀適ス
勞彰最洪ナ祝ニ用

東京市京橋區尾張町二丁目十六、十七、十八、十九番地
時計寶玉類貴金屬美術品及各種銃砲火藥商
天賞堂
（特電話新橋三三三）

天賞堂出張所々在地
●東京市神田●名古屋臨時●大坂市●長崎臨時●熊本臨時●廣嶋市●長崎卅●小樽臨時

無料贈呈 天賞堂營業一覽（送費四錢）

●料理法講習會 會員募集
●來る九月十六日より和洋及支那料理講習を開始す志望者は至急申込むべし
麴町區下二番町 成女學校

明治三十六年九月十日發行（毎月十日廿五日二回）

發行兼印刷人 山澤俊夫
編輯人 手島益雄
發行所 大日本女學會內

印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人第三十七號附錄

明治三十六年九月十日發行（毎月十日廿五日二回）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

帝國圖書館 IMPERIAL LIBRARY

評議員
陸軍中將上田有澤夫人上田常磐子

熊本縣支部幹事
清田愛子

宮崎縣支部幹事
森田かれ子

發行兼印刷人 山澤俊夫 編輯人 手島益雄 發行所 大日本女學會內愛國婦人發行所
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN